

科目名	アマデウスシステム実務 I						
科目名(英)	AMADEUS I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	井上 ゆかり		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	旅客サービス会社において 旅客サービス業務担当		
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	世界トップシェアを誇るAMADEUSシステムで航空券の予約について学び、検定においてSpecialist(初級)の合格を目指す。その中で、航空業界で使用する専門用語(2レター・3レターや機材名など)や航空業界の予約システムについての知識を深め、業界においてマルチに活躍できる人材となることを目標とする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空会社2レターや都市・空港の3レターを覚え、小テストにおいて満点を取ることができる。	
	○					入力エントリを習得し、予約操作を一人で行うことができる。	
		○				入力エントリを問題によって使い分け、応用することができる。	
			○			スムーズなタイピングを習得し、60分以内で丁寧に問題を解くことができる。	
	○					Specialist(初級)に合格することができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:アマデウスユーザーガイド予約、クイックガイド(早見表)、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	アマデウス概要説明、シラバス配布、サインイン・サインアウト			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	2	情報検索①(各種コード検索、都市・空港・国コード)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	3	情報検索②(各種コード検索、航空会社・機材コード)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	4	情報検索まとめテスト・タイムテーブル			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	5	ダイレクトアクセス、ヘボン式ローマ字			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	6	空席照会			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	7	PNR作成演習①(基本PNR作成、PNRの再表示、PNR中断)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	8	PNR作成演習②(PNRの取り出し、乗継PNR)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	9	PNR作成演習③(小児・幼児PNRの作成)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	10	PNRのキャンセル・修正・変更			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	11	PNR作成まとめテスト①(基本編)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	12	SSR・OSI入力(MEAL・FFP・SEAT)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	13	検定模擬試験①、採点、解説			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	14	検定模擬試験②、採点、解説			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
15	定期試験			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。			
評価方法	(1)授業内で定期試験(実技)を実施する。(2)検定を受験する。(3)小テストを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○	◎	○		50%
	検定取得状況	◎	○	◎	○		5%
	小テスト	◎	○		○		45%
履修上の注意	特に無し。						

科目名	運輸概論						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	桑原 武志		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	旅行会社において 営業企画として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	志望職種、会社の選択において、その選択肢を広く持つための知識を身につける。自らの所属するであろう業界の形態・特徴を理解することで、業界における志望職種の役割や位置づけの確認を行う。業界全体の歴史や概要に対する理解を深め、業界の持つ課題や将来展望についての知識を身につける。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					業界の社会的役割を理解し、現状と課題をまとめることができる。	
	○					航空・鉄道・海上輸送の特色や長短所を理解し、項目を挙げて違いを表現することができる。	
	○					運輸業態別の歴史と役割を理解し、説明を行うことができる。	
	○			○		運輸業界で求められる人材像を把握し、面接での質問の意図を理解した回答を準備できる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント教材						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	運輸概論を学ぶことの意味を考える 現在の理解度ミニテスト(都道府県名、県庁所在地)					
	2	運輸業界の種類と性格(役割と現状を理解し、進路決定に役立てる)					
	3	航空輸送の歴史と役割を理解する 鉄道輸送の歴史と役割を理解する				振り返りレポートの提出	
	4	航空会社の職種及び職種ごとの仕事内容を学ぶ 鉄道会社の職種及び職種ごとの仕事内容を学ぶ					
	5	主要航空会社のプロフィール					
	6	運輸業界が求める人材と、面接での質問の意図					
	7	日本地理(新幹線駅名・観光地・都市及び空港コード)					
	8	授業内容の振り返り				確認テストの実施	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)確認テストの実施 (2)運輸業界に関するレポートの作成・提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	宿題・レポート	○	◎				50%
履修上の注意							

科目名	実用英語 I、II - ②						
科目名(英)	Practical English						
単位数	4	時間数	60	担当者	深川信子		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科・エアライン科1.2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング、リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					文法: 基本文法を理解する事ができる	
	○					語彙: TOEIC頻出単語を覚え、使用する事ができる	
	○					リスニング: 様々な国の英語に慣れ、話の内容を理解する事ができる	
	○					リーディング: ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる	
テキスト・教材 参考図書	公式TOEIC Listening&Reading問題集2(国際ビジネスコミュニケーション協会) TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	2	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	3	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	4	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	5	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	6	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	7	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	8	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	9	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	10	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	11	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	12	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	13	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	14	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
15	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと		
評価方法	(1)毎週、単語テストを実施する (2)朝自習プリントを提出する事 (3)定期試験(筆記)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
	発表・作品						
履修上の注意	・授業中のスマホ禁止 ・辞書を持参する事 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語 I、II-②						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60	担当者	波多野 里美		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテルブライダル 1年・2年 ・ エアライン科 1年・2年						
授業概要	テキストの英検過去問題集を徹底的に学習することにより、合格を目指します。毎朝、朝課題に英単語熟語の問題を学習します。授業は、朝リスニング問題を実施します。また、テキストの英検準2級過去問題集に徹底的に取り組みますので予習・復習を忘れないでください。また英作文にも取り組みます。英単語・英熟語については、各自自宅学習してください。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				英検準2級の合格を目指す。		
	○				英検準2級の英単語・熟語を書き覚える。		
	○				英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。		
	○				英検準2級の筆記問題に対応できる力をつける。		
	○				英検準2級程度の英作文を書けるようになる。		
テキスト・教材 参考図書	英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社)・英検準2級書き覚えノート(旺文社)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		
	6	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		
	7	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	8	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	12	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	16	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	18	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	20	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		
	21	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	22	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	24	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	25	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		
	26	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	27	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	28	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	29	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	30	英語Dクラス 学期末試験			授業内容に係る学期末テストを実施するので復習しておくこと		
評価方法	(1)学期末試験(筆記)を実施する。(2)検定取得を考慮する。(3)授業の中で小テストを5回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				50%
	小テスト		○				50%
	検定取得		○				
朝課題・宿題・授業態度				○			
履修上の注意	授業中の携帯電話使用を禁止します。英単語検索は、電子辞書、または英語辞典等を持参してください。出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I, II - ②					
科目名(英)						
単位数	3単位	時間数	60時間	担当者	内丸 誌帆	
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ホテルブライダル・エアライン科 1年 2年					
授業概要	基本的な文法・単語を理解し、業務に必要な最低限度の英語力を身につける。 英検3級合格を目標とする。					
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○				目標 会話の内容を聞き取り、短文英語で答えることができる。	
	○	○			頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる	
			○		宿題・授業内での課題を期限内に提出できる	
テキスト・教材 参考図書	旺文社 英検3級集中ゼミ／でる順パス単 英検3級 啓隆社 英作基本文例600/Baton Pass					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	実用英語1 英作文問題① / リスニング				
	2	実用英語2 英作文問題① / リスニング				
	3	実用英語3 英作文問題② / リスニング				
	4	実用英語4 英作文問題② / リスニング				
	5	実用英語5 リスニング第1部				
	6	実用英語6 リスニング第2部				
	7	実用英語7 リスニング第3部				
	8	実用英語8 リスニング第1部				
	9	実用英語9 リスニング第1部				
	10	実用英語10 リスニング第2部				
	11	実用英語11 リスニング第3部				
	12	実用英語12 読解問題 提示 / リスニング				
	13	実用英語13 読解問題 e-mail / リスニング				
	14	実用英語14 読解問題 手紙文 / リスニング				
	15	実用英語15 読解問題 説明文 / リスニング				
	16	実用英語16 過去問演習				
	17	実用英語17 過去問演習				
	18	実用英語18 過去問演習				
	19	実用英語19 過去問演習				
	20	実用英語20 過去問演習				
	21	実用英語21 過去問演習				
	22	実用英語22 過去問演習				
	23	実用英語23 過去問演習				
	24	実用英語24 過去問演習				
	25	実用英語25 過去問演習				
	26	実用英語26 過去問演習				
	27	実用英語27 過去問演習				
	28	実用英語28 過去問演習				
	29	実用英語29 過去問演習				
	30	実用英語30 総まとめテスト				
評価方法	小テスト・宿題・提出物・定期試験を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	○	○			50%
	小テスト	○	○			20%
	宿題・レポート		○			20%
	態度				○	10%
履修上の注意						

科目名	実用英語 I II ②				
科目名(英)	Training Practice for STEP 2 <sup>nd</sup> Grade				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	辻 泰宇
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年				
授業概要	就職活動の資格試験として合格し、国際的なビジネスの場で必要とされる英語運用能力を養うことを目的とし、英検2級の問題を中心にリーディング・リスニングの演習を行います。また、英文理解力、語彙の強化に努め、英検2級の合格を目指します。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
		○			
		○			
		○			
学習目標 (到達目標)	目標				
	語彙: 英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる				
	読解: 基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる				
	リスニング: 様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる				
	英作文: 基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版]</li> <li>・ できる順パス単 英検2級</li> </ul>				
授業計画 授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	序説: 名詞・形容詞・副詞の役割と文の要素SVOC			左記の内容をそれぞれ言えるように覚えること
	2	序説: 5文型と文構造			各文型の基本構造を言えるように覚えること
	3	1日目: 短文の語句空所補充問題①(単語)解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	4	2日目: 短文の語句空所補充問題②(熟語)解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	5	3日目: 短文の語句空所補充問題③(文法)解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	6	4日目: 短文の語句空所補充問題④(語法)解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	7	5日目: 長文の語句空所補充問題① 解説・問題 [A] [B]			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	8	6日目: 長文の内容一致選択問題① 解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	9	6日目: 長文の内容一致選択問題① 問題 [A] [B]			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	10	7日目: 長文の内容一致選択問題② 解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	11	7日目: 長文の内容一致選択問題② 問題 [A] [B]			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	12	8日目: 英作文問題① 解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	13	8日目: 英作文問題① 問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	14	9日目: 会話の内容一致選択問題① 解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	15	10日目: 文の内容一致選択問題① 解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	16	9日目: リスニング問題を攻略! ①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	17	10日目: リスニング問題を攻略! ②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	18	11日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 単語⑤			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	19	演習: リスニング特訓①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	20	12日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 熟語⑥			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	21	13日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 文法⑦			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	22	14日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 語法⑧			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること
	23	演習: リスニング特訓②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること

	24	15日目:【応用】長文の語句空所補充問題を攻略! ②-1	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	25	15日目:【応用】長文の語句空所補充問題を攻略! ②-2	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	26	演習: リスニング特訓③	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	27	16日目:【応用】長文の内容一致選択問題を攻略! ③-1	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	28	17日目:【応用】長文の内容一致選択問題を攻略! ③-2	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	29	演習: リスニング特訓④	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	30	前期定期試験(筆記)	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
評価方法	(1)、月曜日から金曜日まで毎朝、英語テストを実施する(時間厳守!!)。 (2)、朝自習のプリントは自己採点の後、担任の先生に必ず提出すること。 (3)、前期・後期の各学期中に定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
履修上の注意	・辞書を持参すること      ・授業中の私語、スマホの使用は禁止      ・授業外での自主学習の推奨						

科目名	実用英語 I - ②						
科目名(英)	Practical English I - ②						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科・ホテルブライダル科 1年・2年						
授業概要	高校3年までに学習する英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とする。4技能を活かし、エアライン業界やホテル業界などの接客において、外国人とコミュニケーション力を身につける。また、「英会話」や「英語表現」などと連動し、話す、書く能力を実践的に修得する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				英語検定2級レベルの語彙(4,000~5,000語)の意味を理解できる。		
	○				まとまりのある説明文を理解したり、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。		
	○				日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。		
	○				日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができる。		
○	○				日常生活での話題についてある程度まとまりのある文書を書くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 DAILY20日間 英検2級集中ゼミ ・旺文社 2018年度版英検2級過去6回全問題集&CD ・桐原書店 English Grammar Navigator Workbook						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	プレイズメントテスト					
	2	プレイズメントテスト					
	3	英検2級の概要と学習の進め方、分野別学習方法(語彙1)					
	4	分野別学習方法(語彙2、リスニング問題 会話文1)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	5	分野別学習方法(語彙3、リスニング問題 会話文2)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	6	分野別学習方法(イディオム1、リスニング問題 文の内容一致1)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	7	分野別学習方法(イディオム2、リスニング問題 文の内容一致2)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習		
	8	分野別学習(語彙、イディオム)確認テスト、リスニング問題			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	9	分野別学習方法(語句の空所補充問題1、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	10	分野別学習方法(語句の空所補充問題2、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	11	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題1、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	12	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題2、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	13	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題3、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	14	長文の内容一致選択問題の確認テスト、英作文の書き方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習		
	15	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	16	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと		
	17	英作文(文型2・文型4)の書き方、文法(分詞)、リスニング			総合問題を事前に読み、問題を解いておくこと		
	18	総合問題(英作文)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習		
	19	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	20	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	21	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)					
	22	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	23	実践問題 2018年度第3回の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	24	2018年度第3回問題より、英作文の解説と作文のポイント			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	25	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)					
	26	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	27	実践問題 2018年度第2回の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	28	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)					
	29	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
	30	実践問題、定期試験(50分間)			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回以上実施する。(2)授業前課題・宿題を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト	○	○		○		25%
	宿題	○			○		20%
授業前課題				○		5%	
履修上の注意	・授業前課題を必ず行うこと。この課題の確認テストは、基本的に毎週月曜日に実施し、平常点となる。 ・与えられた課題は必ず行い、授業に出席すること。 ・授業には、英和辞典(電子辞書可)、筆記具、ノートを持参すること。アプリの辞書機能は使用しない。						

科目名	実用英語補講 I・II						
科目名(英)	Practical English (supplementary) I・II						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	深川信子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科・エアライン科1.2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング、リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					文法: 基本文法を理解する事ができる	
	○					語彙: TOEIC頻出単語を覚え、使用する事ができる	
	○					リスニング: 様々な国の英語に慣れ、話の内容を理解する事ができる	
	○					リーディング: ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる	
テキスト・教材 参考図書	公式TOEIC Listening&Reading問題集2(国際ビジネスコミュニケーション協会) TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	2	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	3	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	4	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	5	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	6	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	7	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	8	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	9	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	10	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	11	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	12	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	13	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	14	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	15	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
評価方法	(1)毎週、単語テストを実施する (2)朝自習プリントを提出する事 (3)定期試験(筆記)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
履修上の注意	・授業中のスマホ禁止 ・辞書を持参する事 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語補講 I II						
科目名(英)	Practical English (Make-up classes) I						
単位数	2	時間数	15	担当者	津田 徳子		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年						
授業概要	高校3年までに学習する英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力と高めることを目的とする。4技能を活かし、エアライン業界やホテル業界などの接客において、外国人とのコミュニケーション力を身につける。また、「英会話」や「英語表現」などと連動し、話す、書く力を実践的に修得する。英語検定のための、受験指導を含む。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					語彙: 英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる	
		○				読解: 基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる	
		○				リスニング: 様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる	
		○				英作文: 基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版] ・2019年度版英検2級過去6回全問題集</li> <li>・ できる順パス単 英検2級</li> </ul>						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	2019年度第1回問題 解答					
	2	2019年度第1回問題 解答解説(2級の概要と内容把握。各自弱点の把握)			教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく		
	3	分野別対策(語彙・イディオム、リスニング第1部)			教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく		
	4	分野別対策(語彙・文法:分詞、リスニング第2部)			教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく		
	5	分野別対策(語彙・イディオム・文法)指定時間内で解答練習 リスニング弱点部分の強化			教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく		
	6	分野別対策(短文の空所補充、リスニング)			教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく		
	7	分野別対策(E-mailの読み方と読解、リスニング)			教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく		
	8	分野別対策(長文読解、リードと主題について、リスニング) ⇒実用英語 I・II ②へ続く			教科書の該当範囲ならびに、課題を解いておく		
	9	実践問題(2018年度第1回)					
	10	実践問題(2018年度第1回)解答解説、			2018年度第1回不正解問題の再解答		
	11	実践問題(2018年度第2回)			2018年度第2回不正解問題の再解答		
	12	実践問題(2018年度第2回)解答解説			2018年度第2回における語彙、文法の復習		
	13	実践問題(2018年度第3回)			2018年度第3回不正解問題の再解答		
	14	実践問題(2018年度 第3回)			2018年度第3回における語彙、文法の復習		
15	学期末試験(50分間)、受験上の注意点と総まとめ						
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回以上実施する。(2)授業前課題・宿題を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト	○	○		○		25%
	宿題	○			○		20%
授業前課題				○		5%	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝課題を必ず行うこと。この課題の確認テストは、基本的に毎週月曜日に実施し、平常点となる。</li> <li>・与えられた課題は必ず行い、授業に出席すること。</li> <li>・授業には、英和辞典(電子辞書可)筆記具、ノートを持参すること。アプリ辞書機能は使用不可。</li> </ul>						

科目名	実用英語補講ⅠⅡ						
科目名(英)	Training Practice for STEP 2 <sup>nd</sup> Grade						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	辻 泰宇		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年						
授業概要	就職活動の資格試験として合格し、国際的なビジネスの場で必要とされる英語運用能力を養うことを目的とし、英検2級の問題を中心にリーディング・リスニングの演習を行います。また、英文理解力、語彙の強化に努め、英検2級の合格を目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○						
		○					
		○					
		○					
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版]</li> <li>・でる順パス単 英検2級</li> </ul>						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	【筆記[1]】短文の語句空所補充問題①+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	2	【筆記[2]】長文の語句空所補充問題①+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	3	【筆記[3]】長文の内容一致選択問題①+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	4	【筆記[3]】長文の内容一致選択問題②+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	5	英作文・リスニング演習①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	6	【筆記[1]】短文の語句空所補充問題②+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	7	【筆記[2]】長文の語句空所補充問題②+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	8	【筆記[3]】長文の内容一致選択問題③+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	9	【筆記[3]】長文の内容一致選択問題④+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	10	英作文・リスニング演習②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	11	【筆記[1]】短文の語句空所補充問題③+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	12	【筆記[2]】長文の語句空所補充問題③+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	13	【筆記[3]】長文の内容一致選択問題⑤+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	14	【筆記[3]】長文の内容一致選択問題⑥+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
15	英作文・リスニング演習③			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること			
評価方法	(1)、月曜日から金曜日まで毎朝、単語テストを実施する(時間厳守!!)。 (2)、朝自習のプリントは自己採点の後、担任の先生に必ず提出すること。 (3)、前期・後期の各学期中に定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
	宿題・朝自習課題	◎	○		○		25%
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書を持参すること</li> <li>・授業中の私語、スマホの使用は禁止</li> <li>・授業外での自主学習の推奨</li> </ul>						

科目名	実用英語補講 I、II						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30	担当者	波多野 里美		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテルブライダル 1年・2年 ・ エアライン科 1年・2年						
授業概要	テキストの英検過去問題集を徹底的に学習することにより、合格を目指します。毎朝、朝課題に英単語熟語の問題を学習します。授業は、朝リスニング問題を実施します。また、テキストの英検準2級過去問題集に徹底的に取り組めますので予習・復習を忘れないでください。また英作文にも取り組めます。英単語・英熟語については、各自自宅学習してください。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					英検準2級の合格を目指す。	
	○					英検準2級の英単語・熟語を書き覚える。	
	○					英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。	
	○					英検準2級の筆記問題に対応できる力をつける。	
○					英検準2級程度の英作文を書けるようになる。		
テキスト・教材 参考図書	英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社)・英検準2級書き覚えノート(旺文社)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		
	6	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		
	7	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	8	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	12	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
15	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。			
評価方法	(1)学期末試験(筆記)を実施する。(2)検定取得を考慮する。(3)授業の中で小テストを5回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				50%
	小テスト		○				50%
	検定取得		○				
	朝課題・宿題・授業態度				○		
履修上の注意	授業中の携帯電話使用を禁止します。英単語検索は、電子辞書、または英語辞典等を持参してください。出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 補講 I、II					
科目名(英)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	内丸 誌帆	
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ホテルブライダル・エアライン科 1年 2年					
授業概要	英検3級の実力を想定し、さらに実践レベルでの使い方を学ぶ					
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	目標	
	○				会話の内容を聞き取り、短文英語で答えることができる。	
	○	○			頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる	
			○		宿題・授業内での課題を期限内に提出できる	
テキスト・教材 参考図書	啓隆社 英作基本文例600/Baton Pass					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	実用英語1 補講 文型				
	2	実用英語2 補講 時制の基本				
	3	実用英語3 補講 完了形				
	4	実用英語4 補講 疑問文				
	5	実用英語5 補講 命令文				
	6	実用英語6 補講 助動詞				
	7	実用英語7 補講 受動態				
	8	実用英語8 補講 否定表現				
	9	実用英語9 補講 不定詞				
	10	実用英語10 補講 動名詞				
	11	実用英語11 補講 分詞				
	12	実用英語12 補講 比較				
	13	実用英語13 補講 関係詞				
	14	実用英語14 補講 接続詞				
	15	実用英語15 補講 まとめ・テスト				
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
評価方法	小テスト・宿題・提出物・定期試験を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	○	○			50%
	小テスト	○	○			20%
	宿題・レポート		○			20%
	態度				○	10%
履修上の注意						

科目名	Excel						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	北島正幸		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン・ホテルブライダル1年						
授業概要	あらゆるビジネスシーンに最も活用されている「表計算ソフトMicrosoft Excel」。そのExcelの基本の習得を目指すとともにPCスキル並びにITリテラシーの向上を図ります。講義終了後に行われる「サーティファイExcel表計算処理技能認定試験3級」の合格を目指す。						
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		
				実技:	<input type="radio"/>	※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="checkbox"/>	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	<input type="radio"/>					Excelの表計算機能を理解する	
		<input type="radio"/>				Excelの表計算機能を利用することができる	
		<input type="radio"/>				文字入力を支障なくできる	
テキスト・教材 参考図書	Excel2016クイックマスター（基本編） Excel文書処理技能認定試験 3級 問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Introduction・環境設定					
	2	Excelの基本					
	3	データの編集					
	4	表の編集					
	5	表の編集					
	6	ブックの印刷					
	7	グラフと図形の作成					
	8	グラフと図形の作成					
	9	ブックの利用と管理					
	10	関数					
	11	関数					
	12	データベース機能					
	13	総合学習問題					
	14	総合学習問題					
15	模擬問題						
評価方法	講義出席・練習問題・課題提出のすべて行って平常点100点とし、検定試験の点数との平均で行う。 検定試験の点数が60点以下・または受験しなかった場合は別途担当教員から試験・またはレポートを課す。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(検定試験)	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				50%
	練習問題	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。15回の講義のあと4回の補講があります。						

科目名	英語表現 I -②						
科目名(英)	English Expression I -②						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	深川信子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	英語での面接試験に対応できるよう、想定される質問にスムーズに回答できるようになるまで、繰り返し練習を行います。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		英語で自己紹介や志望動機を伝える事ができる。	
	○	○		○		英語での質疑にスムーズに回答できる。	
テキスト・教材 参考図書	英語面接試験対策テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス確認、自己紹介文作成			授業で学習した内容を復習しておきましょう。		
	2	英語面接 準備編①②			授業で学習した内容を復習しておきましょう。		
	3	英語面接 自己紹介編①			授業で学習した内容を復習しておきましょう。		
	4	英語面接 自己紹介編②			これまでに学習した内容の確認、ロールプレイをします。練習をしておいて下さい。		
	5	英語面接 趣味編①②			授業で学習した内容を復習しておきましょう。		
	6	英語面接 趣味編③④			授業で学習した内容を復習しておきましょう。		
	7	英語面接 性格編 ①②			授業で学習した内容を復習しておきましょう。		
	8	英語面接 志望動機編①②			これまでに学習した内容の確認、ロールプレイをします。練習をしておいて下さい。		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で、発表を行う。(2)宿題・レポートを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	◎	○		◎		50%
	発表・作品	◎	○		◎		50%
履修上の注意	授業で学んだ内容を、普段から繰り返し練習しましょう。携帯電話の使用禁止。						

科目名	SPI対策 I -②						
科目名(英)	Synthetic Personality Inventory						
単位数	2	時間数	30	担当者	乗鞍 弘毅		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン1年						
授業概要	言語分野では、言葉の意味や話の要旨を的確にとらえて理解できる力を養い、非言語分野では、数的な処理や、論理的思考力養う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					SPI3の形式の言語問題に慣れ、言語知識を増やす。	
		○				SPI3頻出の非言語問題の解法を学び、基本問題が確実に解ける。	
テキスト・教材 参考図書	全解SPI実践問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	§1-1 同意語 §1-2 反対語 §1-15 グラフ・図表・表記法				理解できなかった問題を繰り返す。	
	2	§1-3 二語関係 §1-4 複数の意味 §1-16 PERT法				理解できなかった問題を繰り返す。	
	3	§1-5 語句の意味 §1-6 ことわざ・慣用句 §1-17 フローチャート				理解できなかった問題を繰り返す。	
	4	§1-18 ブラックボックス				理解できなかった問題を繰り返す。	
	5	§1-19 物の流れと比率				理解できなかった問題を繰り返す。	
	6	§1-21 分布図の読み取り				理解できなかった問題を繰り返す。	
	7	§1-22 n進法				理解できなかった問題を繰り返す。	
	8	§1-23 命題				理解できなかった問題を繰り返す。	
	9	§1-24 推論(1)				理解できなかった問題を繰り返す。	
	10	§1-24 推論(2)				理解できなかった問題を繰り返す。	
	11	<復習> §1-1 同意語 §1-2 反対語 §1-15 グラフ・図表・表記法				理解できなかった問題を繰り返す。	
	12	<復習> §1-3 二語関係, §1-4 複数の意味 §1-16 PERT法				理解できなかった問題を繰り返す。	
	13	<復習> §1-5 語句の意味 §1-6 ことわざ・慣用句 §1-17 フローチャート				理解できなかった問題を繰り返す。	
	14	非言語頻出分野復習1					
15	非言語頻出分野復習2						
評価方法	期末テストの点で100%評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	SPI特講						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15	担当者	島 一弘		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	基礎計算力を付け、社会の一員として生活できるようにすることができるようことを目指す。また日本社会はもちろん外国の社会の数学で作られた仕組みやその役割・機能を理解習得を目指す。						
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	<input type="radio"/>					日本国民としての数学の基本法則や基本用語の理解ができる。	
		<input type="radio"/>				基本的な数学計算ができる。	
				<input type="radio"/>		常にあらゆるものに対して「なぜ」という疑問を持ち、問題に取り組む姿勢を持つ。	
テキスト・教材 参考図書	自作プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	基礎計算				授業の復習を丁寧に繰り返すこと	
	2	割合				授業の復習を丁寧に繰り返すこと	
	3	方程式				授業の復習を丁寧に繰り返すこと	
	4	図形の基礎				授業の復習を丁寧に繰り返すこと	
	5	グラフ				授業の復習を丁寧に繰り返すこと	
	6	面積と体積				授業の復習を丁寧に繰り返すこと	
	7	図形と角度				授業の復習を丁寧に繰り返すこと	
	8	平方根				授業の復習を丁寧に繰り返すこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)宿題・レポートを毎回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。(3)学習意欲(居眠り・私語)は減点以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト						
	宿題・レポート	○	◎		◎		40%
	発表・作品				◎		10%
履修上の注意							

科目名	一般教養 I - ②						
科目名(英)	Common sense						
単位数	1単位	時間数	15	担当者	島 一弘		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	日本という社会において意思疎通を図れる用語や計算を駆使することができるようことを目指す。また日本社会はもちろん外国の社会の仕組みやその役割・機能を理解習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					日本国民としての社会を理解する基本用語の理解ができる。	
		○				基本的な数学計算ができる。	
				○		常にあらゆるものに対して「なぜ」という疑問を持ち、問題に取り組む姿勢を持つ。	
テキスト・教材 参考図書	プラス内定2021年卒版「一般常識&最新時事」(新星出版社)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	四則の計算①			復習で理解し練習を重ねること		
	2	四則の計算②			復習で理解し練習を重ねること		
	3	方程式①			復習で理解し練習を重ねること		
	4	方程式②			復習で理解し練習を重ねること		
	5	比例と反比例			復習で理解し練習を重ねること		
	6	一次関数			復習で理解し練習を重ねること		
	7	二次関数			復習で理解し練習を重ねること		
	8	図形			復習で理解し練習を重ねること		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)宿題・レポートを毎回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。(3)学習意欲(居眠り・私語)は減点以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト				◎		10%
	宿題・レポート	○	◎		◎		40%
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	English Communication I (2)						
科目名(英)	English Communication I						
単位数	2	時間数	30	担当者	Robert Sumner		
実施年度	2019	実施時期	2nd term	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	Airline 1st Grade.						
授業概要	Provide students with motivation to learn English. Give students confidence to believe they can improve. Provide English skills for Everyday English in the work environment.						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○						
		○					
			○				
目標	To learn everyday vocabulary & remember key words To study & give students confidence to express themselves Encourage students to speak with confidence and a positive attitude.						
テキスト・教材 参考図書	Talk a Lot textbook & Worksheets						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Summer Holidays					
	2	Making Airline Reservations					
	3	Numbers & Time Expressions					
	4	Future Events					
	5	Talk about School					
	6	Airline English					
	7	English for Ground staff					
	8	Health Problems + Talkhopoly					
	9	How was your weekend?					
	10	Buying an Airline ticket					
	11	Flight times & Check-in					
	12	Could I have your name please?					
	13	Restaurant & Airport Roleplay.					
	14	Review & Test Preparation					
	15	End of Term Test.					
評価方法	定期試験	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	○				50
	宿題・レポート						
	発表・作品						
	態度・意欲				○		50
履修上の注意							

科目名	韓国語 I										
科目名(英)	korean										
単位数	3	時間数	45	担当者	李 銀晶(イ・ウンジョン)						
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目							
対象学科・学年	エアライン 科1年										
授業概要	この授業では、隣の国である「韓国」の社会と文化を日本社会と比べながらしっかり理解して、韓国語の文字基本会話・文法について学びます。さらに、この授業をきっかけにして日韓両国の「架け橋」になりたいという強い意志を求めて、グローバルな視野を持ち、国際的に活躍できる人物を育成します。基本的な韓国語のコミュニケーションスキルと韓国社会・文化について同時に講義を進めます。また、発音・会話練習があり、韓国語会話について自信感を高めます。さらに、韓国社会・文化の理解を得て、日韓関係について関心を深めることを目的とします。										
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	○				韓国語の文字・基本会話を覚えて、基本的な韓国語コミュニケーションを習得する					
		○				韓国語の文法について理解を得て、日本語の文法と比較する。					
	○	○				韓国語能力試験対策(TOPIK)2級に合格する。(個人受験)					
				○		韓国社会と文化と理解して日韓両国関係の改善に寄与する					
テキスト・教材 参考図書	韓国語学習スタートブック、韓国語能力試験合格対策講座NEW TOPIK！(白帝社)										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	韓国語能力試験対策講座 単語練習(1) 名詞					テキストを事前に読んでおくこと				
	2~4	韓国語能力試験対策講座 読解練習・聴解練習					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	5	韓国語能力試験対策講座 単語練習(2) 動詞					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	6~8	韓国語能力試験対策講座 読解練習・聴解練習					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	9	韓国語能力試験対策講座 単語練習(3) 形容詞					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	10~12	韓国語能力試験対策講座 読解練習・聴解練習					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	13	韓国語能力試験対策講座 単語練習(4) 名詞					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	14~16	韓国語能力試験対策講座 読解練習・聴解練習					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	17	韓国語能力試験対策講座 単語練習(5) 副詞ーその他					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	18~20	韓国語能力試験対策講座 読解練習・聴解練習					テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと				
	21	特別講座 九州の中に韓国文化									
	22	模擬テスト実施									
23	まとめ、総合復習										
評価方法	1.期末試験を実施する 2.出欠状況(無断欠席の場合は減点理由となります。)3.授業態度以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
	定期試験	◎	○				50%				
	出欠状況				◎		25%				
	授業態度				◎		25%				
履修上の注意											

科目名	航空業界対策 I-A						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	横山 誠		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	航空業界は、激動の時代に来ています。LCCの台頭により、競争が激化してきており、5年後、10年後にはどういった状況になっているのか、全く先が読めなくなっております。この講義では、LCCとFSCは何が違うのか、LCCの特徴は何か、そして今現場で起きている事を国際線を中心に話をしていきます。さらに、今後航空業界に必ず必要になる基礎知識、仕組み等を解説していきます。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空会社コード、空港コードを復習し、航空業務を円滑に進める知識を習得して暗記することができる	
		○				LCCは何故安い価格設定が可能なのか、LCCの仕組みの把握し、業界の構造を理解し説明することができる	
			○			インバウンド需要の現状把握/急増している外国人観光客の理由を分析し理解した上で説明する事ができる	
	○					航空業界で使う業界用語の習得し、航空業務を円滑に進める知識を習得して暗記することができる	
	○					様々な外資系航空会社を例に、航空会社の特徴を把握し理解した上で説明する事ができる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自己紹介・LCCについて-LCC特徴を把握					
	2	LCCの仕組みと既存航空会社との違い、覚えておきたい航空業界用語その1					
	3	小テスト、アウトバウンド・インバウンド旅行の現状と今後				小テストのために、2レター・3レターの復習	
	4	覚えておきたい航空業界用語その2、福岡空港の未来					
	5	小テスト、航空業界のサービスについて1				航空業界用語の復習	
	6	航空業界のサービスについて2、航空業界の今後					
	7	航空運賃の仕組み、授業総括					
	8	テスト					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎					30%
	授業態度・発言	○	◎				20%
履修上の注意							

科目名	航空業界対策 I-B						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15	担当者	波多野 里美		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン 1年						
授業概要	航空業界を取り巻く様々な社会情勢を把握し、航空業界の基礎的な業務知識を身に付ける。また、航空会社の様々な仕事についての内容を学習し、航空業界で働いていくために必要な知識について理解を深める。また、航空業界対策として就職活動の面接対応策を実施する。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					航空会社を取り巻く、様々な社会状況を理解し、説明することが出来る。	
	○					飛行機に関連する事項について、説明ができ、状況を理解することが出来る。	
	○					グランドスタッフの仕事について、仕事内容を理解し説明が出来る。初歩的なカウンターサービスを演習で実践することが出来る。	
	○					キャビンアテンダントの仕事について、仕事内容を理解し、説明できる。初歩的な機内サービスを演習で実践することが出来る。	
	○			○		航空業界対策・面接対策	
テキスト・教材 参考図書	ANAグランドスタッフ入門						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	航空業界をとりまく状況について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	航空業界をとりまく状況について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	航空業界対策・面接対策			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	航空業界対策・面接対策			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	航空業界対策・面接対策			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	航空業界対策・面接対策			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	航空業界対策・面接対策			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	航空業界対策・面接対策			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	1) 学期末試験の成績を考慮する。(2) 小テストを5回実施する。(3) 宿題・授業態度等を考慮する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	面接対策				○		50%
	授業態度				○		50%
履修上の注意	資料プリント等を配布しますので、ファイルを持参してください。						

科目名	航空実務 B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30	担当者	波多野 里美		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン 1年						
授業概要	航空業界を取り巻く様々な社会情勢を把握し、航空業界の基礎的な業務知識を身に付ける。また、航空会社の様々な仕事についての内容を学習し、航空業界で働いていくために必要な知識について理解を深める。実際にモックアップで演習することにより、さらに実践的な対応力を身に付ける。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空会社を取り巻く、様々な社会状況を理解し、説明することが出来る。	
	○					飛行機に関連する事項について、説明ができ、状況を理解することが出来る。	
	○					グランドスタッフの仕事について、仕事内容を理解し説明が出来る。初歩的なカウンターサービスを演習で実践することが出来る。	
	○					キャビンアテンダントの仕事について、仕事内容を理解し、説明できる。初歩的な機内サービスを演習で実践することが出来る。	
○					航空業界関連の専門用語について、説明ができ、使用することが出来る。		
テキスト・教材 参考図書	ANAグランドスタッフ入門						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	グランドスタッフの仕事-旅客ハンドリング業務			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	グランドスタッフの仕事-旅客ハンドリング業務			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	3	グランドスタッフの仕事-旅客ハンドリング業務			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		
	4	グランドスタッフの仕事-旅客ハンドリング業務			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		
	5	グランドスタッフの仕事-旅客ハンドリング業務			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		
	6	グランドスタッフの仕事-旅客ハンドリング業務			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	7	CAの仕事-機内サービス・業務			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		
	8	CAの仕事-機内サービス・業務			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9	CAの仕事-機内サービス・業務			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		
	10	CAの仕事-機内サービス・業務			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	11	航空業界用語について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	航空業界用語について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	航空業界用語について			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。授業内容に係る確認テストを実施するの教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	航空業界用語について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
15	学年末試験			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
評価方法	1) 学期末試験の成績を考慮する。(2) 小テストを5回実施する。(3) 宿題・授業態度等を考慮する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学期末試験		○				50%
	小テスト		○				50%
	宿題・授業態度				○		
履修上の注意	毎回、各航空会社の時刻表・地図帳を持参してください。また、資料プリント等を配布しますので、ファイルを持参してください。出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	自己表現						
科目名(英)	Communication Skills						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	社会人になるまでのマナーや身嗜ひ、教養知識を身につけ、就職活動においての企業研究・履歴書添削・面接指導を行い、就職内定へ繋げる。 ①就職活動に必要な書類(履歴書・ES)作成 ②求職票受付面接の指導・面接のための自己分析 ③航空業界の採用情報、企業が求める人材・資質について学ぶ ④企業研究・業界研究を徹底する						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		理解職業を理解し、行動に移せることのできる	
	○			○		考える力を身につけ、伝える力を身につける	
	○					好感もてる表情や口調で伝える	
				○		自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション(自己表現の受け方)				テーマに沿って準備をする	
	2	職業理解①				テーマに沿って準備をする	
	3	職業理解②				テーマに沿って準備をする	
	4	職業理解③				テーマに沿って準備をする	
	5	求職面接指導				テーマに沿って準備をする	
	6	求職受付面接指導ESの作成				テーマに沿って準備をする	
	7	求職受付面接指導ESの作成				テーマに沿って準備をする	
	8	自己PR				テーマに沿って準備をする	
	9	志望動機				テーマに沿って準備をする	
	10	求職面接指導				テーマに沿って準備をする	
	11	求職面接指導				テーマに沿って準備をする	
	12	求職面接指導				テーマに沿って準備をする	
	13	求職面接指導				テーマに沿って準備をする	
	14	求職面接指導				テーマに沿って準備をする	
15	まとめ				テーマに沿って準備をする		
評価方法	(1)提出物は各期限を設定する (2)ホームワークを数回実施する (3)自習・行事を数回実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		50%
	意欲・努力				◎		50%
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						

科目名	社会教養 I -②						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につける。まずは、就職活動における企業研究・履歴書添削・面接指導を行い就職内定へ繋げる。また、クラスや学科行事を行い学科・学年を跨いで交流を深める事でコミュニケーション力向上や協調性を身につけ業界へ適した人材育成に繋げる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持することができる	
				○		社会人としてのマナー(挨拶・電話・メール・態度など)を身につけ実践することができる	
	○					就職活動における報連相を素早く行うことができる	
	○					好感もてる表情や口調で自身の伝えたいことを話し、企業の求める人材像に相応した面接ができる	
			○			自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション(目標設定・クラスルール設定・各委員役割分担)			なし		
	2	学科行事			簡単な自己紹介や新入生が学校生活に馴染めるような場の設定やコミュニケーション方法を考えておくこと		
	3	就職活動指導①(就職活動状況報告・企業研究・受験準備)			説明会資料やパンフレットを準備しておくこと 企業HPをみておくこと		
	4	学校行事準備①(役割分担・ディスカッション)			なし		
	5	就職活動指導②(就職活動状況報告・履歴書作成)			履歴書に記載する内容をまとめておくこと		
	6	就職活動指導③(就職活動状況報告・履歴書作成・添削)			履歴書の下書きをしておくこと		
	7	就職活動指導④(就職活動状況報告・履歴書添削・面接対策)			履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと		
	8	就職活動指導⑤(就職活動状況報告・履歴書添削・面接対策)			履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと		
	9	就職活動指導⑥(就職活動状況報告・面接指導)			面接練習をしておくこと		
	10	就職活動指導⑦(就職活動状況報告・面接指導)			面接練習をしておくこと		
	11	就職活動指導⑧(就職活動状況報告・面接指導)			面接練習をしておくこと		
	12	就職活動指導⑨(就職活動状況報告・面接指導)			面接練習をしておくこと		
	13	就職活動指導⑩(就職活動状況報告・面接指導)			面接練習をしておくこと		
	14	就職活動指導⑪(就職活動状況報告・面接指導)			面接練習をしておくこと		
15	就職活動指導⑫(就職活動状況報告・面接指導)			面接練習をしておくこと			
評価方法	(1)提出物は各期限を設定する (2)ホームワークを数回実施する (3)自習・行事を数回実施する以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物状況				◎		100%
	ホームワーク				◎		
	自習・行事への参加意欲				◎		
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						

科目名	地理 I						
科目名(英)	Japanese Geography						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	島 一弘		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	日本人として日本の地理を理解しその自然とその風土・文化を愛し、他国の人も説明することができるように ことを目指す。また日本人としてのアイデンティティを見出し誇りを持つことを目指す。						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					日本国民としての地理を理解する基本用語の理解ができる。	
		○				基本的な日本の地理・風土・文化が説明できる。	
				○		常にあらゆるものに対して「なぜ」という疑問を持ち、問題に取り組む姿勢を持つ。	
テキスト・教材 参考図書	地図脳ワーク・プリント・地図帳						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	日本のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	北海道地方のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	東北地方のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	関東地方のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	中部地方のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	近畿地方のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	中国・四国地方のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	九州・沖縄地方のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題・レポートを毎回実施する。(3)学習意欲(居眠り・私語)は減点 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	宿題・レポート	○	◎		◎		30%
	発表・作品	◎	◎		◎		20%
履修上の注意							

科目名	中国語 I						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	青柳七重		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	観光系エアライン科1年						
授業概要	中国語の音・リズムを身に付ける。 仕事の現場ですぐに活用できる中国語を習得する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					基本の名詞文・動詞文・形容詞文で会話ができる	
	○					助動詞・アスペクト助詞を使い、よりの確な表現ができる	
	○					中国語検定試験準4級・4級の合格を目指す。	
テキスト・教材 参考図書	中国語 Hop・Step・Jnmp (KINSEIDO)/中国語検定準4級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課 声調と短母音 / 第2 課子音			無料の音声ファイルをダウンロードしておく		
	2	第3課 複母音 / 第4課 鼻母音					
	3	第5課 発音上のルール・数字・教室用語・日常用語					
	4	第6課 名詞文			新出語句の確認		
	5	第6課 動詞文					
	6	第6課 自己紹介					
	7	第6課 復習・小テスト			第6課 文法事項の確認		
	8	第7課 星座と年齢			新出語句の確認		
	9	第7課 時間詞					
	10	第7課 指示代詞・連体修飾語「的」					
	11	第7課 復習・小テスト			第7課 文法事項の確認		
	12	第8課 所有、存在の動詞「有」			新出語句の確認		
	13	第8課 量詞・家族構成					
	14	第8課 形容詞文					
	15	第8課 復習・小テスト			第8課 文法事項の確認		
	16	第9課 所在の動詞「在」			新出語句の確認		
	17	第9課 介詞「離」					
	18	第9課 連動文					
	19	第9課 疑問詞疑問文					
	20	第9課 復習・小テスト			第9課 文法事項の確認		
	21	自己紹介文作成・発表			学習した文型を使って3分程度のスピーチを準備		
	22	L.1~9 まとめ					
23	期末試験						
評価方法	(1)定期試験を実施する。(筆記) (2)各課終了後に小テストを実施する。(3)授業中の発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	○				20%
発表		◎		◎		30%	
履修上の注意	無料の音声ファイルをダウンロードし、音・意味・漢字が結びつくように常に耳を慣らしておくこと						